

市立みなくち診療所外来診療のご案内

常勤内科医師不在により大変ご迷惑をおかけしておりましたが、5月から上田敬一医師を迎え、内科診療を行っています。

7月からの外来診療体制は次のとおりです。ご自身の健康や体調について気になる方は、お気軽にご相談ください。

ご挨拶

初めまして。滋賀医科大学卒業で、二十六年間県内の病院で主に循環器疾患を担当して参りました。診療所勤務は経験ありませんが、今回医局人事でここ水口ので働くことになりました。



甲賀市水口医療介護センター 副院長 **上田 敬一**

自然と交通の便が良く歴史ある街で働ける事、光栄に思っています。今までの経験を生かし、より良い医療環境が整う様に、頑張っていくと思っておりますので、皆様宜しくお願ひ申し上げます。

外来診療体制表

診療科・曜日	月	火	水	木	金
内科	上田	上田	上田	—	上田
循環器内科	小澤(予)	大西(予)	—	木村(予)	—
消化器内科	—	—	—	村田	—
糖尿病内科	—	—	—	大橋(予)	山元(予)
小児科	星野	多賀	多賀	岸本	中原
外科	—	—	—	—	田中
整形外科	浅薦	浅薦	笠原	浅薦	浅薦

内科	上田	上田	上田	村田	山元
糖尿病内科	—	—	—	大橋(予)	—
小児科(心臓病)	—	—	—	—	宗村(予)※1
整形外科	浅薦	—	—	—	浅薦

診療科	受付時間	診療時間	休診日
内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・小児科・外科・整形外科・リハビリテーション科	午前診：8:30～12:00 午後診：13:30～15:30	午前診：9:00～ 午後診：14:00～	土曜日・日曜日・祝日・年末年始

(予)は予約制 ※1原則、毎月第4金曜日のみ
●外来診療の臨時休診や変更につきましては、随時ご確認ください。

水口医療介護センター
☎ 62-3346 / ☎ 63-1728

かつて水口の古城山には水口岡山城がありました。麓の町からみえる石垣は白くきらびやかであり、豊臣政権による支配を象徴するものであったと考えられます。政権が豊臣から徳川へと変わり、水口岡山城は廃城となりましたが、徳川三代将軍家光により水口宿の南西に將軍の御殿として水口城が築かれました。城跡に建つ水口城資料館には寛永十一年(1634)築城当時の水口城本丸復原模型を展示しています。この模型は幕府京都大工頭中井家に伝わる建築指図を参考にし、建築史の専門家に監修いただいたものです。現在滋賀県立水口高等学校の運動場となっている水口城本丸ですが、家光の上洛に伴い、前年の七月には小堀政一(遠州)を伴って作事奉行に命じられた。延べ十万人の土工が動員されたといわれています。上洛した家光は八月五日に京都を発ち、翌六日水口に泊まりました。本丸御殿が使われたのはこの一泊のみで、その後は城番が置かれました。天和二年(1682)に加藤明友が入部し水口藩が成立しましたが、加藤氏は水口城拝領以降幕末まで、本丸御殿を加藤氏自らの殿舎や藩庁として利用しませんでした。元禄八年(1695)には加藤氏が

甲賀の文化財

水口岡山城と水口城

下野国壬生に転封し、鳥居忠英が入部しますが、正徳二年(1712)に加藤氏が再入部します。その翌年に老中秋元喬元へ伺いその了承のもと本丸御殿は取り壊され、周囲の櫓・多門・土塀・門をとどめるのみとなり、明治維新を迎えます。

詳しい内容は『甲賀市史』第三巻をご参照ください。



▲水口城本丸復原模型(水口城資料館蔵)

◎『甲賀市史』市内書店などで好評販売中

水口歴史民俗資料館
☎ 62-7141 / ☎ 63-4737

多羅尾四季のみどころガイドDVDで情報発信

●多羅尾地域市民センター



▲作成されたDVD

多羅尾学区自治振興会では、このほど「多羅尾四季のみどころガイド」DVDを作成されました。このDVDは、多羅尾区の魅力をPRするため、同会のブログに掲載されている動画一年分を約三十分編集されたものです。今後は、多羅尾区の魅力を県内外の人に広く知っていただくと共に、区民や区ゆかりの人に同区の魅力を再発見いただく材料として利用される予定です。最終的には、居住者の定住促進に繋がっていくことを目的とされています。なお、第二弾として「自然やくらし」編を発行される予定で、取材など準備が進められています。

東 西 南 北

地域市民センター

手作り水鉄砲でふれあい交流

●甲南第三地域市民センター

この日は、下野川延寿会の皆さんが事前に用意された材料を小学校に持ち寄り、水鉄砲の作り方や使い方を丁寧に教えていただきました。水鉄砲を作った後は、班ごとに分かれて水鉄砲の水をどこまで飛ばすことができるか一緒に楽しみました。



みんな楽しんで後は、子どもたちから感謝の気持ちを込めて、肩たたきのお礼。参加した皆さんが笑顔いっぱいになった貴重な機会となりました。

短冊に願いを込めて

●土山地域市民センター

道の駅「あいの土山」では、毎年七夕の節句にあわせ、訪れていただいた皆さんの願い事を短冊に書いていただく「七夕笹飾り」が開催されています。今年も7月2日から7日にかけて駅内に笹と短冊が用意され、皆さんの願いが叶うようにと、最終は田村社に奉納されることになっています。土山へお越しの際は、ぜひ道の駅「あいの土山」にお立ち寄りいただき、願いを書きましたため下さい。心よりお待ちしております。



▲昨年の七夕笹飾りの様子

今年も開催します「青少年のひろば」

●柏木地域市民センター



▶昨年の流しそうめんの様子

7月20日、かしわぎ自治振興会と柏木青少年育成会の共催で、「みんな、あつまれ！青少年のひろば」が開催されました。子どもたちの体験活動はもとより、地域の大人との交流を深め、顔見知りの輪を広げることにより、地域の安心・安全につなげていくことを目的としています。恒例の流しそうめんや、宝さがし、昔のあそびや手作りおやつ作りなど、たくさんの方で賑わいます。また今年も、地産地消を目的に柏木地区で収穫された、とれたて野菜などを販売する「野菜市」も同時開催します。